

事務局 だより

○第49回定時総会開催

令和5年2月21日(火)午後3時から、横浜市中区山下町の「ホテル ニューグランド レインボーボールルーム」で第49回定時総会を開催しました。

総会は、議決権を有する会員80社のうち74社(委任状による出席会員42社及び書面表決書による出席会員6社を含む)が出席し、中丸裕嗣理事(有)ナカマル商会)の司会により定刻に始まりました。

冒頭、原島利光会長による挨拶があり、続いて、来賓としてお越しいただいた小菅知之神奈川県環境農政局農水産部畜産課課長代理、池田進横浜市健康福祉局生活課長及び高橋三恵子川崎市健康福祉局保健医療政策部生活衛生担当課長の皆様からご挨拶をいただきました。

その後司会者が定款第16条の規定に基づいて総会議長の選任について諮ったところ、司会者一任の声があり、司会者より大曾根一喜氏(株アルファ住宅)が議長に指名されました。



(第49回定時総会風景)

以後、大曾根議長の議事進行により議事に入り、第1号議案の「令和4年度計算書類及びこれらの附属明細書並びに財産目録の承認」と報告事項の「令和4年度事業報告」について一括して事務局長から総会資料に基づき説明があり、引き続き芝生幸夫監事から監事監査の結果

について報告の後、これらを一括審議したところ、質疑、意見ともになく、全会一致をもって第1号議案が承認されました。

その後、大曾根議長は他に議案がないことを確認のうえ、総会の閉会を宣言し、解散しました。

例年ですと、定時総会後は、講師を呼んで経営環境改善研修会を開催しますが、今回は、出席会員全員でSDGs学習ボードゲーム「Get The Point」を体験しました。



SDGs 体験ボードゲーム「Get The Point」

当協会が実施する事業を委員会において体系的に整理し、持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals)に合致するものとして、令和4年5月に(一社)日本SDGs協会からSDGs事業認定を受けることが出来たことから、「持続可能性やSDGs」について分かりやすく学習するために、ボードゲームを行ったものです。



このゲームでは、資源カードを使って様々なアイテムを作成し、アイテムごとに設定されているポイント数を競うものです。「奪い合い競争する世界」と「持続させるために協力する世界」の2つの世界を点数で競い合うことで、「持続可能な社会とはどういうことか」「なぜ持続可能な社会を作る必要があるのか」について、理解を深めるものです。

委員会において事前に何回かゲームを実施したこともあって、当日は委員が各グループを回りアドバイスすることによって、スムーズなゲーム進行ができました。

○令和5年度会務の概況

(他の頁で紹介されていない会務の概況をご報告します。)

○公衆衛生予防事業(主な受託事業)

○横浜市中区内の重点地区におけるネズミ駆除事業

この事業は、横浜市中区の委託に基づき、重点地区のねずみ防除を実施したものです。



(参加会員の集合時間をずらして半数の人数で作業開始前打ち合わせを実施)



(駐車場で資材を受け取り)



(毒餌を設置)

事業には感染症予防衛生隊登録会員14会員があたり、作業は令和5年1月23日から同年2月20日までの間に5日間行われました。

○蚊媒介感染症のサーベイランス事業

(横浜市)

この事業は、横浜市の委託に基づき、指定の場所で指定の方法により蚊を採取し、ウイルスチェックを行う市衛生研究所に搬送する事業です。

(実施時期) 5月16日～10月18日

(月2回採取・搬送)

○スズメバチ駆除等各種受託事業

(横浜市・川崎市)

この業務は、特定の条件を満たした場合に、横浜市、川崎市からの委託に基づき実施したものです。

令和5年度の実績は、横浜市4件、川崎市6件でした。

○セアカゴケグモ防除受託事業



(防除のため薬剤を散布)

(横浜市)

この事業は、横浜市の委託に基づき、指定の場所でセアカゴケグモの防除作業を5月29日に実施したものです。

◎令和5年度害虫相談事業の概要

当協会の主要事業の一つである電話による相談事業の令和5年における受付件数は9,371件で、前年度と比較して357件の増加となり、昭和51年度の電話相談開設以来最高件数だった令和4年度をさらに上回る件数となりました。

ハチの相談の多い7月から9月にかけては、一日に100件以上の相談を受ける日もありました。

電話相談件数の推移

()内は構成比で%

種類	5年	4年	3年	2年
ハチ	3,876 (41.4)	4,515 (50.0)	3,719 (47.6)	3,426 (43.8)
ネズミ	2,702 (28.8)	2,153 (23.9)	1,759 (22.5)	1,490 (19.1)
鳥類	782 (8.3)	730 (8.1)	706 (9.0)	688 (8.8)
獣類	856 (9.1)	629 (7.0)	552 (7.1)	479 (6.1)
シロアリ	209 (2.2)	194 (2.2)	181 (2.3)	173 (2.2)
新型コロナ 消毒	— (0.0)	37 (0.4)	161 (2.1)	761 (9.7)
トコジラミ	216 (2.3)	147 (1.6)	120 (1.5)	115 (1.5)
その他	730 (7.8)	609 (6.8)	622 (7.9)	690 (8.8)
合計	9,371 (100)	9,014 (100)	7,820 (100)	7,822 (100)

害虫種類別で最も多かったのは例年通りハチでしたが、件数は3,876件と前年度より639件減少。次いでネズミの2,702件で前年度より549件の増加となりました。以下鳥類782件(ハト231件・コウモリ218件・カラス86件・他247件)、獣類856件(ハクビシン242件・アライグマ93件・タヌキ41件・他480件)で、シロアリとトコジラミは前年比増でした。新型コロナ消毒は新型コロナウイルス感染症が5類感染症となったことなどから、0件という状況でした。



(電話相談の様子:ピーク時には3本の電話すべてが塞がることも)

◎協会図書の出貸

事務局では会員の皆様に専門図書等の貸出を行っております。

業務上、昆虫の生態や環境に興味をお持ちの方、また、顧客から頼まれた不明虫についての調べもの等に是非、協会図書をご利用下さい。アリ、クモ、ゴキブリ、ダニ、ネズミ、ハチ、蚊、虫、昆虫、農薬、家屋害虫、毒、害虫、甲



(協会事務局にある書架)



(令和5年度に購入した図書)

虫、動物、樹木害虫、食品害虫、細菌、生態学、標本、辞書、分類学、図鑑、雑学その他の図書が450冊以上配架されています。

貸出期間は貸出日より2週間です。

郵送による貸し出しもできますので必要な方は協会事務局までご連絡ください。

図書目録は協会ホームページよりご参照できます。また本の購入等ご希望がありましたら協会までお聞かせください。